



第449回 4/2

タムタムランニングクラブ

代表 佐藤心雄さん

現在は和和市を拠点にクラブ運営兼コーチ兼ランナーとして活動しています。スワヒリ語で「楽しい」という意味の「タムタム」をランニングクラブの名前にしています。活動を始めたきっかけは、走る居場所をなくして困っている子どもたちの力になりたいとの思いからです。

活動を続けるうちに、幅広い世代の方に走る楽しさを伝えたいと思うようになりました。皆さん各々めざしているゴールがあるので、自分に意識を向けた形で自分のゴールを目指せるように、各自でメニューを考えてもらうことにしています。今は、「月の初めにみなさんに目標を立ててもらって発表してもらっています。今後も走る楽しさを伝える活動を全国・世界各地を回って伝えていきたい」と語り放送を終えました。



5月の出演 第452回 5/7 「下鶴間太極拳クラブ」 FMやまと 77.7MHz 第453回 5/21 「大和華道協会」 FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

第450回 4/16 地域を明るくする
リハビリテーション専門職の会 大和

代表 岡原隆之介さん

高齢者を対象に介護予防（腰痛予防、膝痛予防、転倒予防、認知症予防、フレイル予防、生活習慣病予防等）の講習会を行っています。岡原さんは理学療法士として働きながら、2018年から府中で活動し2021年、生まれ育って30年の大和市で恩返しをしたいという気持ちも含めて活動を始めました。

2022年度から市民活動推進補助金を受けることができ、そこから活動がすくく加速しました。会を発足させた時、FMやまとに出演し、今城さんから「まずは自分が楽しむ」というアドバイスをもらい心掛けています。



第451回 4/30 一般社団法人
日本スティック競技振興協会

コーチ 猿渡 成さん

フロアボール（アイスホッケーの室内版）をはじめ、アイスホッケー、ボックスラクロスなどスティック競技を日本でメジャースポーツにしていきたい、多くの方にスティック競技の面白さを伝えたいということで立ち上げました。

猿渡さんは小学校3年生のころにネオホッケーに出会い、そして、中学からフロアボールを始め、中学3年生と高校3年生の時にU19の日本代表に選ばれ、世界大会に出場。子どもたちの運動能力の低下が起きないように運動の機会を増やし、地域社会で皆さんが楽しく生活を送れる場所を作りたいと抱負を語りました。



TSUBASA's トーク 第30回 思い出を辿る言葉

方言の意味を尋ねると、他人の日記を盗みみた気持ちになれる。着飾ることのできない言葉のなから、楽しい思い出も、恥ずかしいできごと、会話の中によみがえってくる。

5月の連休に、岩手県一関市を訪れ、目当てにしていた岩手県南の小学校の郷土教育資料を見ることができた。資料を見せてくれた地元の方によると、今から85年前に、小学校の教員が教育状況を報告するために作成したものらしい。資料には、原稿用紙に手書きで、方言が一覧にされている部分もある。ご厚意で、資料を写真に撮らせてもらった。

その日の晩、緑のふるさと協力隊の時にお世話になっていたシニア世代のご夫婦の家に泊まらせてもらえるということで、一緒に



ビールと夕食をいただいていた。

資料にある方言について、どんな風に使うかを尋ねていた。例えば「あつごと」は心配事の意味らしいが、ご夫婦によると、語源



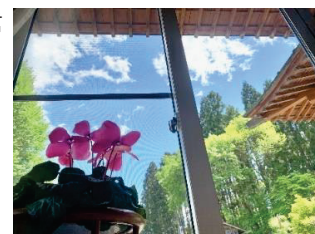
はおそらく「案ずること」だ。だから「あんつこと、すつことねっから」は、「心配いらないよ。大丈夫、大丈夫」という思いやりを含んだ表現になる。

奥様が「思い出した」と語り始める。昔、働いていた職場の忘年会で、カラオケに行ったらしい。「お酒がまわって酔いしれて歌う同級生に、『あんつことなす〜!』と合いの手を入れたものだわ」

「あんつことなす、つつうのは能天気な人をいうのだけども、言われている方は何言われているかわからないんだっしょ」と、いたづらを思い出したように笑う。

最近の飲み場では、「してこび、おどげ、あぐど（額、喉、かかと）」と、わざと言ってみせることで、盛り上がる。「こんな風に言ったもんねえ、と懐かしく柔らかい気持ちになるのさ。さすがの私でも普段から『あぐど』とは言わないもんね」

ご夫婦が言うには、同じ集落の小学生や、テレビに映る岩手県内の子供達は、綺麗な言葉を使うらしい。思い出を辿る言葉がなくなるのは寂しい。



サポーター 尾畑 翼

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第202号 発行日：2024年5月10日

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>
<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

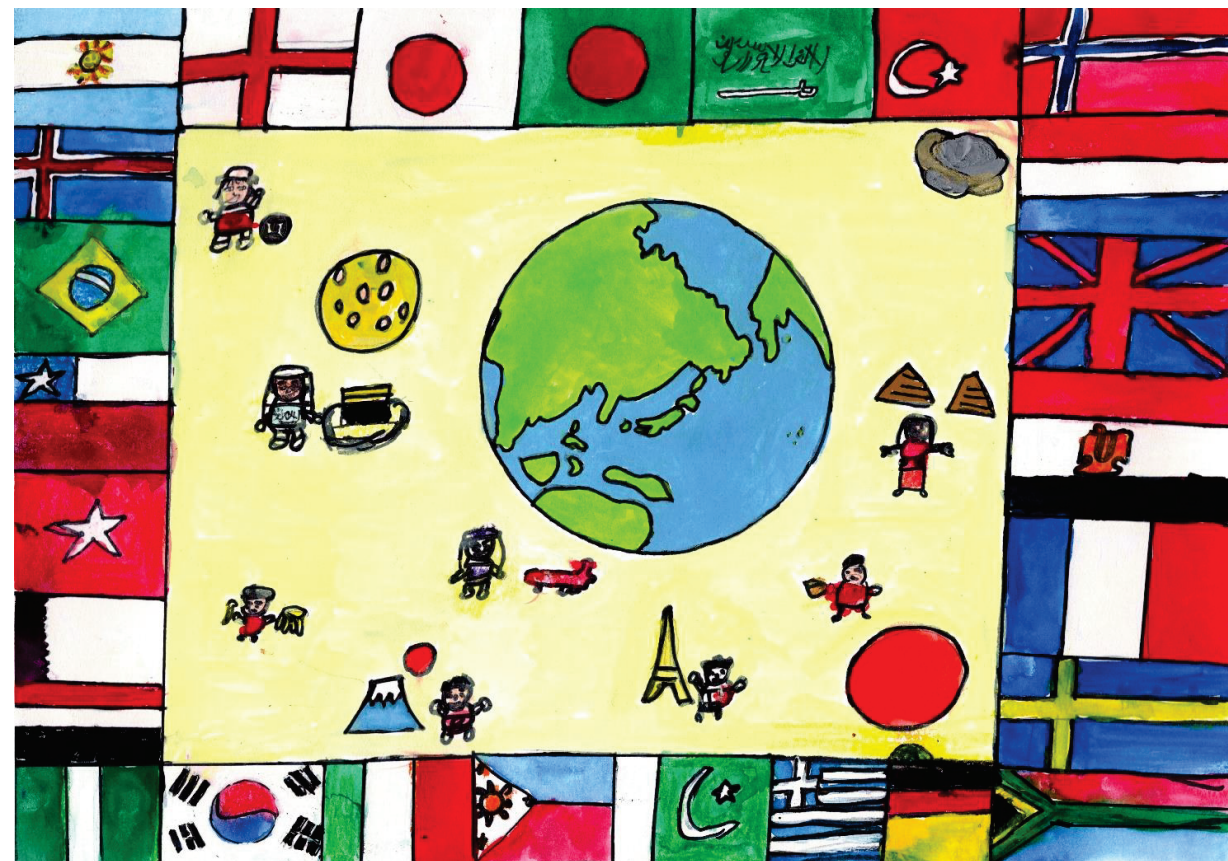
あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution (解決) のSです。
第202号 2024年5月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

5月号
2024



ベテルギウス玄関
5月3日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催

「第16回やまと国際アートフェスタ」

入賞作品を毎号掲載しています

今回のテーマ ～ここから、未来へ～

(株) 浜屋百貨店賞

ウディン ムハメド ズバエルさん

南林間小学校6年(当時)

バングラデシュ人民共和国

タイトル 地球を守ろう 世界中の人たちと

★メッセージ★

世界のみんなが協力したら

素晴らしい地球になると思います

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) * 主催で毎年開催されています。

*「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです。

協働事業・市民活動推進補助金事業報告会を開催

令和5年度実施事業の活動内容を報告いたします

どなたでも入場できます。

と き： 令和6年5月21日(火) 13時15分～17時

ところ： 大和市保健福祉センター ホール

○大和市協働事業提案制度に基づいて、令和5年度に実施された11の協働事業と昨年度補助金(めばえ)を交付した「移動販売買い物支援・消費者と生産者等の交流事業」(NPO法人lagraine ラグレーヌ)が活動報告を行います

※大和市民活動センターは、「大和市民活動センターの管理運営」事業(行政提案型)として、「拠点やまと」と「市民活動課」の協働事業として運営しているので 報告会に参加します

「市民活動推進補助金」対象事業が決定

令和6年度事業について、公開プレゼンテーションと書類審査の結果、次の2事業が決定しました

めばえ(交付金額5万円)

○やまとで生きた人々への聞き書き：Time and Place Project (歴史工房やまと)

はぐくみ(交付金額20万円)

○地域活性化による交流事業(NPO法人lagraine ラグレーヌ)

市民交流カフェがオープンします!! 市民交流スペースにて

ここに来ると誰かに会える ここに来ると誰かとつながる

対象は、こども・若者をはじめとする市民、部室・リグール入室者

*6月から毎月第1土曜日、第3水曜日の午後3時から5時30分の開催予定です。みんな遊びに来てね!!

